

高速増殖原型炉もんじゅ 性能試験(炉心確認試験)
 実施状況

15:00現在

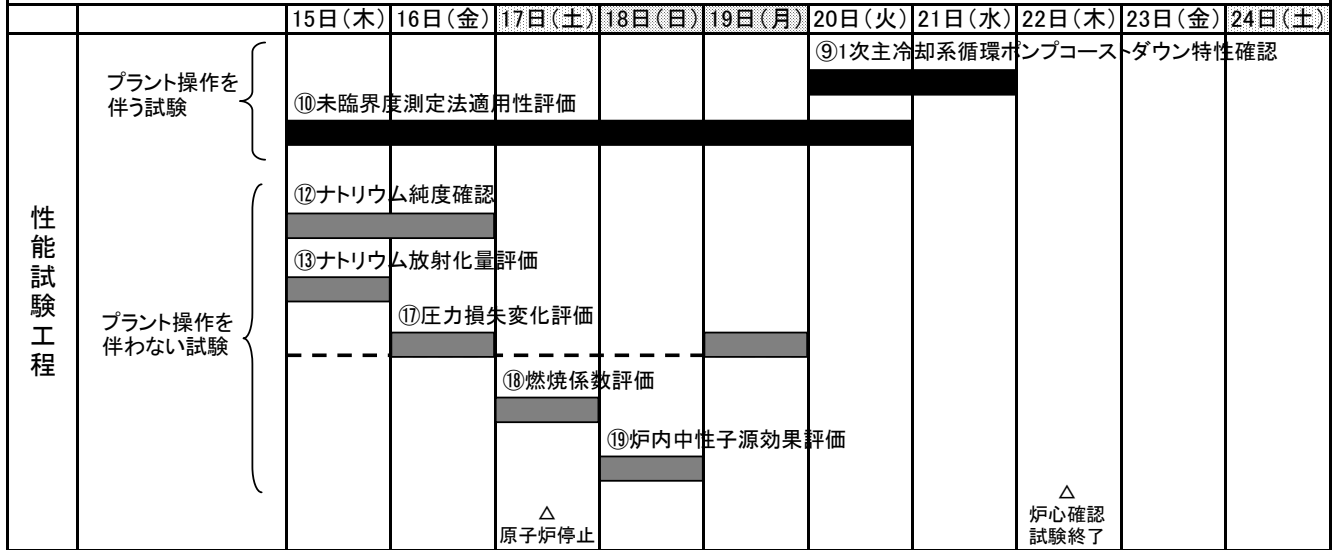
概要
 未臨界度測定法適用性評価等を安全に実施している。

プラント 状態	異常なし。 1次主冷却系流量 約49%(主モータ運転) 1次主冷却系温度 約200℃ 2次主冷却系流量 約 7%(ポンプモータ運転) 2次主冷却系温度 約200℃	備考
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	----

性能試験 実施状況	<p>【昨日(7/16)の実績】</p> 9:20 未臨界度測定法適用性評価開始 22:10終了 9:29 制御棒引抜開始 9:50 ナトリウム純度確認開始 13:20終了 17:00 圧力損失変化評価 17:40終了 21:46 制御棒2本挿入(未臨界)	備考
	<p>【本日の実施状況】</p> 9:15 未臨界度測定法適用性評価開始(7/18 1時頃終了予定) 9:27 制御棒引抜開始 10:34 燃焼係数評価開始(19時頃終了予定) 19時頃 制御棒挿入開始予定 23時頃 制御棒全挿入予定 23時頃 原子炉モードスイッチ「起動」→「停止」予定	
	<p>【明日(7/18)の予定】</p> 未臨界度測定法適用性評価(原子炉停止状態で、制御棒つかみ/はなしによる制御棒位置への影響評価)を実施する。 炉内中性源効果評価を実施する。	

その他	・照明雑動力主分電盤故障の警報発報について(別添資料) ・「プロセスモニタ故障」警報の発報について(別添資料)	備考
-----	------------------------------------------------------------	----

炉心確認試験工程



※ 記載時間及びその他欄について、下線部のとおり修正・追加を行いました。

平成 22 年 7 月 17 日

このお知らせは、国への報告対象トラブルではありませんが、炉心確認試験中に発生したものであり、参考までにお知らせするものです。

高速増殖原型炉もんじゅ
照明雑動力主分電盤故障の警報発報について

1. 発 生 日 : 平成 22 年 7 月 17 日 (土) 1 時 13 分
2. 発生場所 : 高速増殖炉研究開発センター
高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉建物 (管理区域)

3. 状 況 :

高速増殖原型炉もんじゅは、炉心確認試験中ですが、7 月 17 日 1 時 13 分、「照明雑動力主分電盤*故障」の警報が発報し、主分電盤では、「R/B 照明雑動力主分電盤故障」の警報が発報していました。

原子炉建物内の当該分電盤を確認したところ、原子炉建物運転床室の照明用のブレーカーの 1 つが作動していたことから、2 時 1 分に当該ブレーカーを「切」として、故障警報をリセットしました。

原子炉建物運転床室には、36 個の照明が設置されています。本事象により 2 個の照明が消灯の状態になりましたが問題はありません。

本事象による、環境及び炉心確認試験への影響はありません。

原因は、現在調査中です。

* : 照明雑動力主分電盤は、原子炉建物 (R/B) などの各建物の照明、作業用の分電盤やコンセントなどに電源を供給するための主電源盤です。

以 上

平成 22 年 7 月 17 日

このお知らせは、国への報告対象トラブルではありませんが、炉心確認試験中に発生したものであり、参考までにお知らせするものです。

高速増殖原型炉もんじゅ
「プロセスモニタ故障」警報の発報について

1. 発生日 : 平成 22 年 7 月 17 日 (土) 14 時 45 分
2. 発生場所 : 高速増殖炉研究開発センター
高速増殖原型炉もんじゅ
メンテナンス・廃棄物処理建物 (管理区域)

3. 状況 :

高速増殖原型炉もんじゅは、炉心確認試験中ですが、7 月 17 日 14 時 45 分、「プロセスモニタ故障」、「固体廃棄物処理設備ベントガスモニタ^{*1}ラック異常」の警報が発報し、現場では「配管温度異常^{*2}」の警報表示を確認しました。

温度異常の警報は「温度低」を示すもので、14 時 45 分から 56 分にかけて 4 回の警報の発生とリセットがありました。その後、14 時 59 分に警報が再度発報し、継続したことから、サンプリング配管用のヒーターの連続投入による過熱防止のため、ヒーターを 15 時 22 分に切り、警報をリセットしています。

なお、固体廃棄物処理設備ベントガスモニタの指示値は、ガスモニタ 3.1cps、ヨウ素モニタ 3.5 cps で安定しています。また、当該モニタの下流側に設置している、メンテナンス・廃棄物処理建物排気モニタの指示ならびに排気筒モニタの指示値にも変動はなく、環境への影響はありません。

警報の発報原因は、調査中です。

なお、本事象による炉心確認試験への影響はありません。

- * 1 : 固体廃棄物処理設備ベントガスモニタは、固体廃棄物処理系、液体廃棄物処理系の各種タンクより排出されるガス中に含まれる放射性ガスと放射性ヨウ素濃度を監視するためガスをサンプリングし測定しています。
- * 2 : 固体廃棄物処理設備ベントガスモニタの配管は、放射性ヨウ素捕集効率の向上、安定のためにガスモニタの配管を加熱し、43℃に制御しています。温度高 ; 50℃、温度低 ; 37℃です。

添付図 : 固体廃棄物処理設備ベントガスモニタ系統構成概要図

以 上

固体廃棄物処理設備ベントガスモニタ系統構成概要図

